

北海道浮魚ニュース

平成 18(2006)年度 14 号 (通巻 No.227)

2006 年 8 月 29 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

道南 - 秋田沖日本海スルメイカ調査結果

中央水試調査船おやしお丸で実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・ 調査期間 : 2006 年 8 月 22 日 ~ 8 月 28 日
- ・ 調査船 : おやしお丸 (イカ釣機 6 台、イカ用集魚灯 22 灯装備)

CPUE 1 ~ 6 , 外套長のモードは 18 ~ 22cm

水温分布

調査海域の表面水温は、23.8~28.2 (昨年 : 22.0~26.3) でした。昨年の同時期より 0.4~2.6 高くなっていました。50m 深水温は、13.7~17.8 (昨年 : 11.5~19.7) でした。青森県深浦沖では昨年より 2.1 程低くなっていましたが、それ以外の点では 0.6~4.0 高くなっていました。

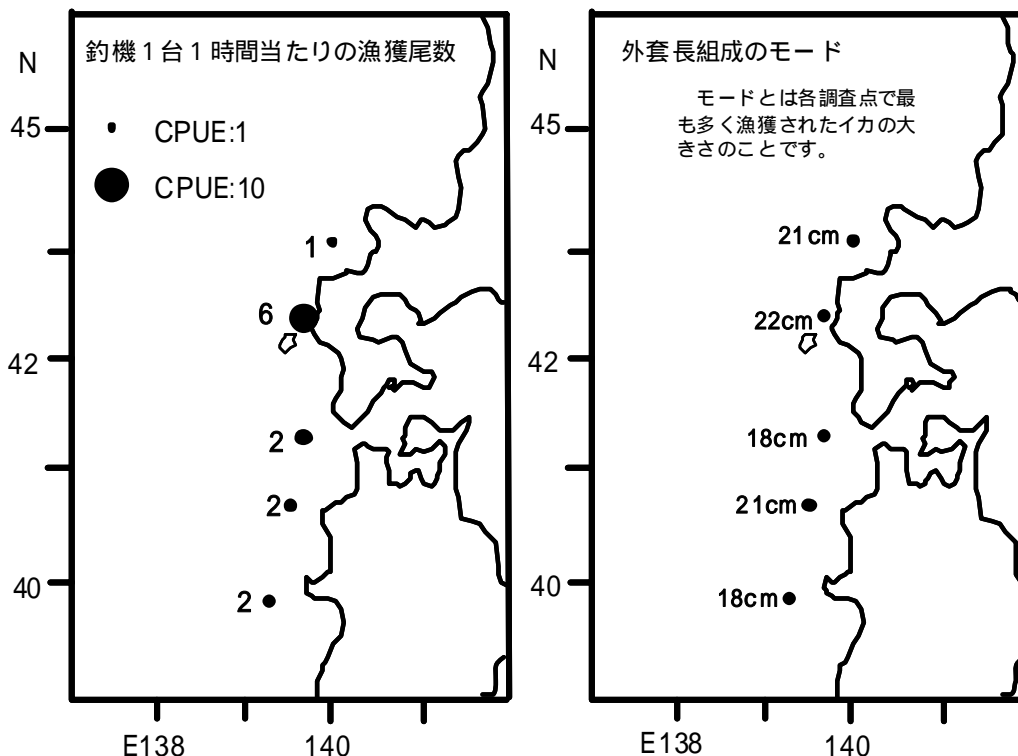


図1 スルメイカの分布密度と外套長組成のモード

スルメイカの分布密度

スルメイカの分布密度 (CPUE : 自動いか釣機 1 台 1 時間当たりの漁獲尾数) は 1 ~ 6 でした (図 1)。全点の平均分布密度は 3 で、昨年 (4) よりも低くなってしまし

た。最も分布密度が高かったのは瀬棚沖で、分布密度は6でした。

スルメイカの大きさ

スルメイカの大きさは、外套長（胴長）組成のモードで見ると、松前沖 18cm（昨年 19cm）、男鹿半島沖 18cm（昨年 20cm）が昨年より小さかった。調査海域全体の組成では、21cm が最も多く、18cm も同じくらい多かった（図2）。昨年は 20～21cm がほとんどであったが、今回の調査では 26cm 以上の大型の個体も漁獲された。

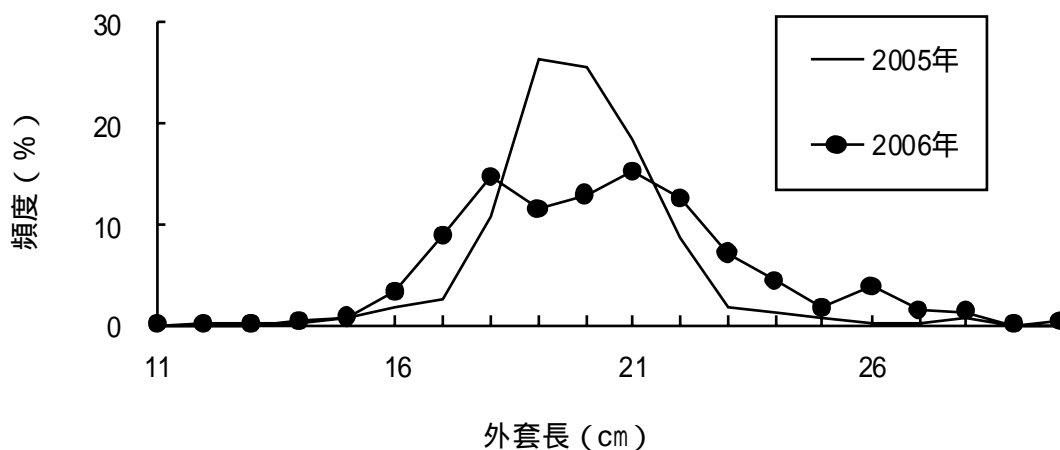
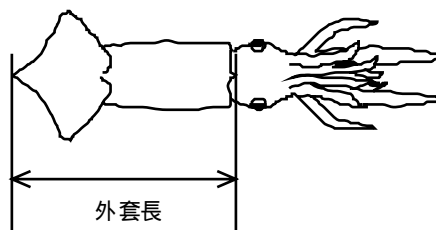


図2 スルメイカ外套長組成図

(文責：中央水産試験場資源管理部，TEL:0135-23-8707，FAX:0135-23-8709)